

～ あなたの献血で「命を繋げる人」がいます～

400mL献血が必要な理由

輸血を受ける患者さんにとって、200mL献血に比べ400mL献血からの血液を輸血した方が、副作用(発熱、発疹)発生が大幅に減少し安全性が向上するためです。

400mL献血の場合



× 2人分

800mLの輸血を
必要としたら…

200mL献血の場合



× 4人分

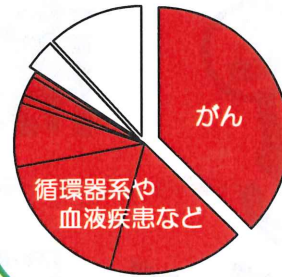
輸血後副作用が発生する可能性

低

今、医療機関では、95%程度が400mL献血による輸血を求めており、200mL献血の需要は5%程度しかありません。

「輸血」の必要な患者さんがたくさんいます

輸血というと、交通事故など大量出血を伴う大ケガをした時に行うものというイメージがありませんか？



実は80%以上が「がん」「白血病」などの病気の治療に使われています。

交通事故など、不慮のけがの治療で使用されているのはごくわずかです。

献血基準が緩和されました

- 高血圧治療薬については、血圧が正常域にコントロールされ、心、腎、血管系に合併症がない場合は**献血可能です**。
- 平成22年1月27日から、1980年から1996年までのイギリス渡航歴による献血制限が緩和されました。これまでは、この間のイギリス滞在歴が1日でもある場合には献血をご遠慮いただいてましたが、今回の制限緩和により、**滞在歴が30日以内の方については献血していただくことが可能となりました。**

検査成績のお知らせ

献血にご協力いただいた方々へ感謝の気持ちとして、健康管理に役立つ「血液検査通知」を郵便にてお知らせしております。

- 生化学検査 (7項目)
「ALT」、「 γ -GTP」は肝臓の機能について知ることができ、また「グリコアルブミン」は糖尿病の検査のひとつでもあります。この他にも「コレステロール値」などの項目があります。
- 血球計数検査 (8項目)
「赤血球数」、「白血球数」、「血小板」などの項目があり、「ヘモグロビン濃度」は貧血の有無を知る目安となります。

***エイズ検査(HIV検査)目的の献血はお断りしております。**

以下に該当する方は献血をご遠慮いただいております

- ① 3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯・歯石除去等)を受けた方
- ② 4週間以内に海外から帰国(入国)した方
- ③ 1ヶ月以内にピアスの穴をあけた方
- ④ エイズ検査が目的の方
- ⑤ 6ヶ月以内に下記に該当する方
 - (a) 不特定の異性または新たな異性との性的接触があった
 - (b) 男性どうしの性的接触があった
 - (c) 麻薬、覚せい剤を使用した
 - (d) 上記(a)～(c)に該当する人と性的接触をもった
- ⑥ 今までに下記に該当する方
 - (a) 輸血(自己血を除く)や臓器の移植を受けた
 - (b) ヒト由来プラセンタ注射薬を使用した
 - (c) 梅毒、C型肝炎、マラリア、シャーガス病にかかった



400mL献血採血基準

- 年齢
男性：17～64歳※
女性：18～64歳※
- 体重
男女とも50kg以上
- 年間献血数量
男性：1,200mL以内
女性：800mL以内

※60～64歳の間に献血経験がある方は69歳までご協力いただけます。



献血カードをお持ちの方はぜひ、ご持参ください。
※受付手続きがスムーズに行えます。

輸血用の血液には有効期限があります



- 赤血球製剤・・・採血後21日間
- 血小板製剤・・・採血後 4日間

輸血用の血液は人工的に造ることができず、また長い期間にわたって保存することもできません。そのため、**絶えず誰かの献血が必要です。**

※特に初めて献血される方には献血受付の際、ご自身を確認できる運転免許証や保険証などのご提示をお願いしております。